

瀋陽駐在員事務所



「硬座宝」実際にネットで約2,000円ぐらいで販売されています。

今年も始まった「春運」

日本の正月から少し遅れて感じる中国の伝統的な文化・習慣があります。旧暦の正月である「春節」です。この日は、中国で一番大事にされている日になり、爆竹や花火、関連するイベントやお祭りの数々が行われます。日本でもたくさん報道されるので、御存じの方も多いのではないでしょうか。春節はその年を締めくくり、家族団らんを楽しむ日であり、多くの中国人が故郷に帰り、家族のきずなを大事にします。

今年の春節は2月10日。これに合わせて、本年1月26日から3月6日までの計40日間、「春運」と称し、特別列車の編成が行われます。毎年多くの中国人が異動するこの時期。新聞発表によると本年は、道路、鉄道、水上、空路含め、延べ34億人が国内移動するそうです。テレビでは、故郷へ帰る人々のうれしそうな姿がたくさん報道され、「正月気分」を盛り上げてくれます。と、同時に、チケットの手配に苦勞する人々の姿や、買い占め、偽物チケットの販売業者摘発など、この時期ならではの番組も多く放送されます。

今年は、寝台車のない長距離列車を快適に過ごす為の便利グッズ（写真参照）が大きくメディアに取上げられていました。座ったままでも長時間寝ていただけるこのグッズ。日本ではあまり必要のないものなのかもしれませんね。

渋川 隆彦

(財)日中経済協会北京事務所 札幌経済交流室



当時の様子(左奥の建物はテレビ局)

二度目の外出禁止令！？

北京に赴任して半年が経過しましたが、先日、二度目の外出禁止令が出されました。

一度目は、昨年9月の尖閣諸島を巡る日中間の関係悪化の際。そして、二度目は、今回の有害物質を含む濃霧（大気汚染）によるものです。

今月中旬、6段階の大気汚染指数で最も悪い「深刻な汚染」を数日間記録し、日中も常に暗く、数十メートル先の建物も見えない状況が続きました。石炭をエネルギーとする火力発電所や、自動車工場等からの粉塵に加え、数日間の無風により汚染物質が滞留したのが原因との事でした。100社以上の工場の生産停止、30箇所の工事現場の作業中止等により経済活動に大きな影響を与えた反面、空気清浄機やマスクの売れ行きが伸びる等、プラスの効果もあったようです。

「美麗中国」を目標に掲げる中国政府ですが、現実には程遠く、現段階での中国においては、経済と環境の両立が困難という事を改めて実感した一週間でした。

佐藤 孝太郎

ユジノサハリンスク駐在員事務所



フィットネス in サハリン



主流は中年女性？

急増するフィットネスクラブ in サハリン

サハリン市民の余暇の過ごし方はバラエティーに富んでいます。冬が長いロシアではスケート、スキーといったウインタースポーツも依然として盛んですが、サハリンではここ数年、フィットネスクラブが急成長しています。現在ではユジノサハリンスク市内に 20 箇所以上の施設があります。当初は欧米の大手企業の社員の健康管理の一環として会員限定の施設はありましたが、最近では手ごろな値段（1ヶ月約7千円～1万円程度）のフィットネスクラブも増え、仕事帰りのサラリーマン、OLや休日に通う人も増えています。殆どの施設ではクラブ内にスパやマッサージ、エステサロンなどが設置されており、ヨガやエクササイズが無料で参加出来ます。利用者の7割近くは女性とのことで、特に、中年女性が体調（体重？）維持管理を目的に通っているようです。

私も日頃の運動不足を解消すべく、事務所スタッフに情報収集を依頼し、自分に合ったエアロビとオイルマッサージが出来る施設を選んで、入会しなければならぬと考えています。